



きれいな空気と水を守ろう

きれいな空気と水は、わたしたちが健康に暮らすために欠かせないものです。昔と今の様子を比べ、どうやってきれいな空気と水を守ればよいか、考えてみましょう。

昔と今を比べるとこんなにきれいに!

昔



過去の川崎市
(写真: 神奈川県環境科学センター)

今



現在の川崎市
(写真: 川崎市港湾局)

空がとてもきれいになったね



過去の田子の浦



現在の田子の浦

(写真: 富士市)

泡だらけだった海が青くなったね



昔の日本では、自動車の排気ガスや工場のけむりで空気が汚れて多くの人がぜんそくで苦しんだり、工場や家庭からの排水で海や川の水が汚れて水生生物がすみにくくなったりと、いろいろな環境問題が起きていました。法律で厳しいルールをつくり、たくさんの方が努力をしてきたことで、今は空気も水も、ずいぶんきれいになっています。

きれいな空気と水を守るために

きれいな空気と水を守るためにできることは何でしょうか? 自分ができていることを考えてみましょう。



空気を守る

例えば

- ✓ 短い距離は歩くか、自転車に乗る
- ✓ 車に乗らず、電車やバスを使う



水を守る

例えば

- ✓ 油などを流しに流さず、新聞紙などに吸わせて捨てる
- ✓ 食器は、いらぬ紙で汚れをふき取ってから洗う



わたしたちの生活と化学物質

わたしたちは生活の中でたくさんの化学物質を利用しています。化学物質は生活を便利にする一方で、正しい使い方をしないと悪い影響を与えてしまうことがあります。

生活で利用している化学物質

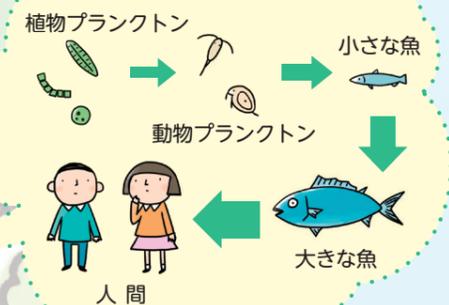
食品	殺虫剤や肥料や農薬	衣類
保存料など かんみりょう 着色料など せんざい	香料など こうりょう 調味料など てんじょう	殺虫スプレー さつちゅうさい 衣類用防虫剤 いりょうぼうちゅうざい 園芸用肥料・農薬 ひりょう
洗剤や化粧品	塗料や接着剤	医薬品
洗剤 せんざい 柔軟仕上げ剤 じゅうなん ファンデーション けしょうひん	口紅 くちべい 塗料 とりょう 接着剤 せつちやくざい のり	飲み薬・塗り薬など いやく

化学物質の怖さとおつきあい方

たくさんの種類がある化学物質の中には、生物濃縮などによって人間や動植物の体に大きな害を与えてしまうものがあります。そのため、国は、化学物質の利用に対してさまざまなルールをつくり、みなさんを守っています。

生物濃縮

生き物の体の中に入った化学物質は、食べる・食べられるという関係が進むにつれて濃くなっていきます。これを「生物濃縮」といいます。



知ってる?

「公害」って何だろう?

「公害」とは、工場でものをつくるなど、人間のいろいろな活動によって空気や水や土が汚れてしまい、健康や生活環境に関する被害が起こることです。日本でこれまでに起こった公害が原因の病気のうち、特に大きな被害を出した右の4つを「四大公害病」といいます。



四大公害病

- 1 水俣病(熊本県水俣市)
- 2 新潟水俣病(新潟県阿賀野川流域)
- 3 イタイイタイ病(富山県神通川流域)
- 4 四日市ぜんそく(三重県四日市市)